

平成25年度第2回市民ボランティア講座

防災を活かしてまちづくり～「もしも」に強い地域って？～

今年度第2回目となる市民ボランティア講座（年4回開催）を8月10日（土）に名寄市総合福祉センターにて開催し53名の方々に参加いただきました。

「防災を活かしてまちづくり～『もしも』に強い地域って？～」と題して開催した今回の講座には、講師として札幌市より一般社団法人ウェルビーデザイン理事長である篠原辰二さんにお越しいただきました。

篠原さんは道内2つの市町において社会福祉協議会職員として勤務され、現在は地域福祉実践を支えるための一般社団法人ウェルビーデザインの理事長として、東日本大震災等の日本各地における災害時の支援活動をはじめ、様々な地域福祉事業に日本全国で関わっています。講座では、篠原さんの経験や災害時の様々な事例をもとに私たちが暮らす地域で災害のみならず日頃から安心して暮らせる地域をつくっていくことの大切さや、そのために取り組むべきこと等について理解を深めました。



災害時への取り組みを始めました

いつどこで起こるか分からない自然災害に対して、迅速かつ適切な対応をとることができる体制整備が必要となっており、名寄市社会福祉協議会では市民の暮らしと命を守るという認識のもと、平常時における地域防災や災害にも強い地域づくりを、平成24年度よりスタートした第3期地域福祉実践計画に基づいて進めています。

これまでは災害をテーマとした市民向け講座を開催する他、下記のような職員研修を通して社協の体制整備を進めています。

- ・「どうして社協が災害に取り組むの？」
（平成24年6月21日）
- ・「災害発生時、私たちはどういった行動をとるの？」
（平成24年11月30日）
- ・「災害時の連携」（平成25年8月9日）



職員研修の様子（平成25年8月9日）